

PTC 電気式床暖房システム

床 暖 愛
YUKA DAN AI

設計・工事店様資料

施工説明書

このたびは電気式床暖房システム「床暖愛」をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。

この施工説明書は、施工要領、施工時の留意事項などを記載しています。

安全に正しく施工するために、施工前には必ず施工説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

ご利用いただきました製品または本説明書について、お気づきの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく弊社（TEL.03-6661-6390）にお問い合わせください。

安全に関するご注意



●施工に際して下記の注意が守られない場合、人命にかかわる重大な事故を招く恐れがあります。確実にお守りください。

1. 電気工事に際して電気事業法、電気工事士法に基づいた有資格者が行う必要があります。また、電気式床暖房システムは電気設備技術基準および内線規程により、配線用遮断器、漏電遮断器の取付けが義務づけられておりますので必ず実施してください。
2. 感電の恐れがありますので、全ての施工が終了するまでは、必ず一次電源の配線用遮断器を切った上で作業してください。
3. ご自分で分解、修理することは絶対におやめください。感電、発火の恐れがあり大変危険です。
4. 発熱シートの平型電線配線部に誤って釘やビスを打った場合は、必ず発熱シートを全交換してください。
5. 発熱シートをコントローラを通さずに通電することは絶対におやめください。異常発熱、感電、発火の恐れがあり大変危険です。
6. 通電はすべての施工終了後、問題のないことを確認し行ってください。



●施工に際して下記の注意が守られない場合、施工に携わる方の傷害ならびにお住まいになる方の傷害あるいは財産上の損害を招く恐れがあります。確実にお守りください。

1. 当床暖房システムは室内専用です。湿気、雨漏れおよび強い太陽光により、腐れ・割れなどの劣化が進み破損の原因となりますので、屋外には使用しないでください。また、コントローラ、発熱シートなどの電気配線部は湿気の多い場所に施工すると漏電による感電や火災の原因となりますので、下地材など乾燥した箇所に施工してください。
2. 当床暖房システムは根太捨貼り工法および二重床工法専用の床暖房システムです。根太貼りおよびコンクリート直貼りなど、その他工法には使用しないでください。
3. 床暖房部分にピアノなどの重量物は置かないでください。
床材が過大な重量に耐えられず破損する恐れがあります。設置可能な荷重目安は、 $1\text{kg}/\text{cm}^2$ までです。
4. フロアーの施工に使用する接着剤の取扱いに際しては、接着剤の容器に表示されている「取扱い上の注意」を必ずご覧ください。
5. 電気式床暖房システム「床暖愛」は日本国内専用です。海外での施工、使用はおやめください。

お問い合わせ先：03-6661-6390



SHUHO 秀朋株式会社

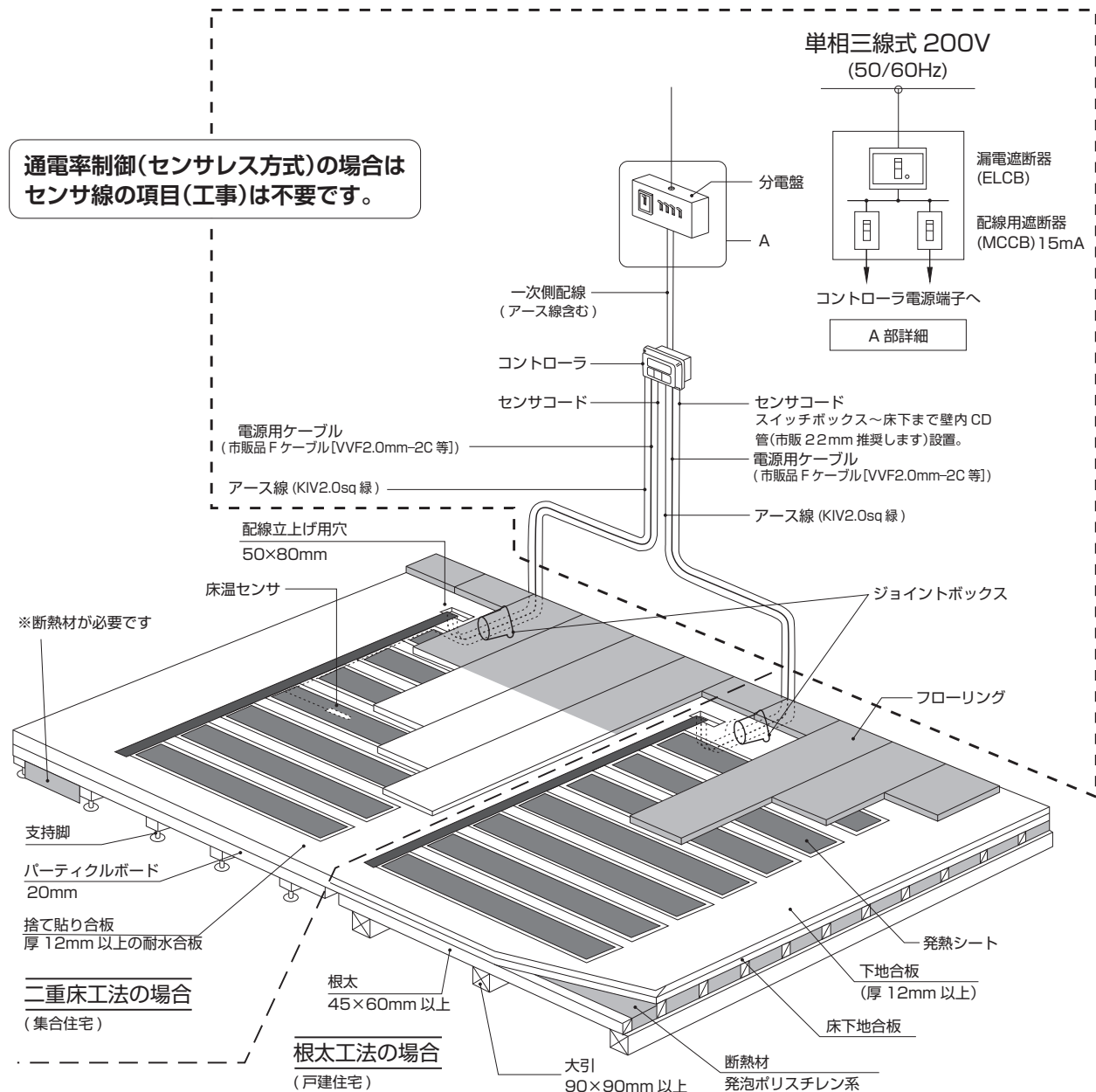
www.shuho-tk.co.jp

本社・工場 〒354-0036 埼玉県富士見市ふじみ野東三丁目11-4 TEL.049-267-3781 FAX.049-267-3782

東京営業所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-6-13 山三ビル2F TEL.03-6661-6390 FAX.03-6661-6391

1.システムの構成及び名称

- 発熱シートの敷設およびフロー材の施工・・・・・・・・・・大工・工務店
- 壁内の配線・結線ならびにコントローラの取付け・・・・・・・・・・電気工事店（----- 内）



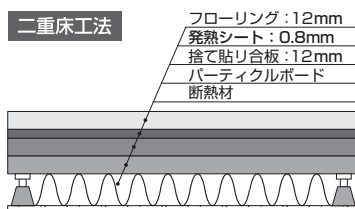
※発熱シート、平型電線配線部は一体型のユニットとなっています。

※集合住宅の場合

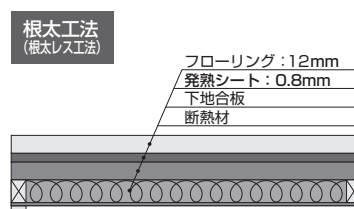
- ・床下地は二重床を使用してください。
- ・床暖房本来の性能が充分に発揮できるよう、床下にはグラスウール等の断熱材を充填してください。

床工法例

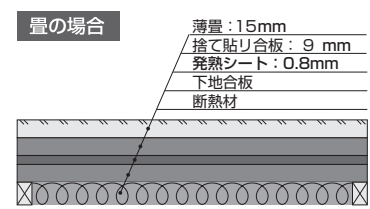
二重床工法



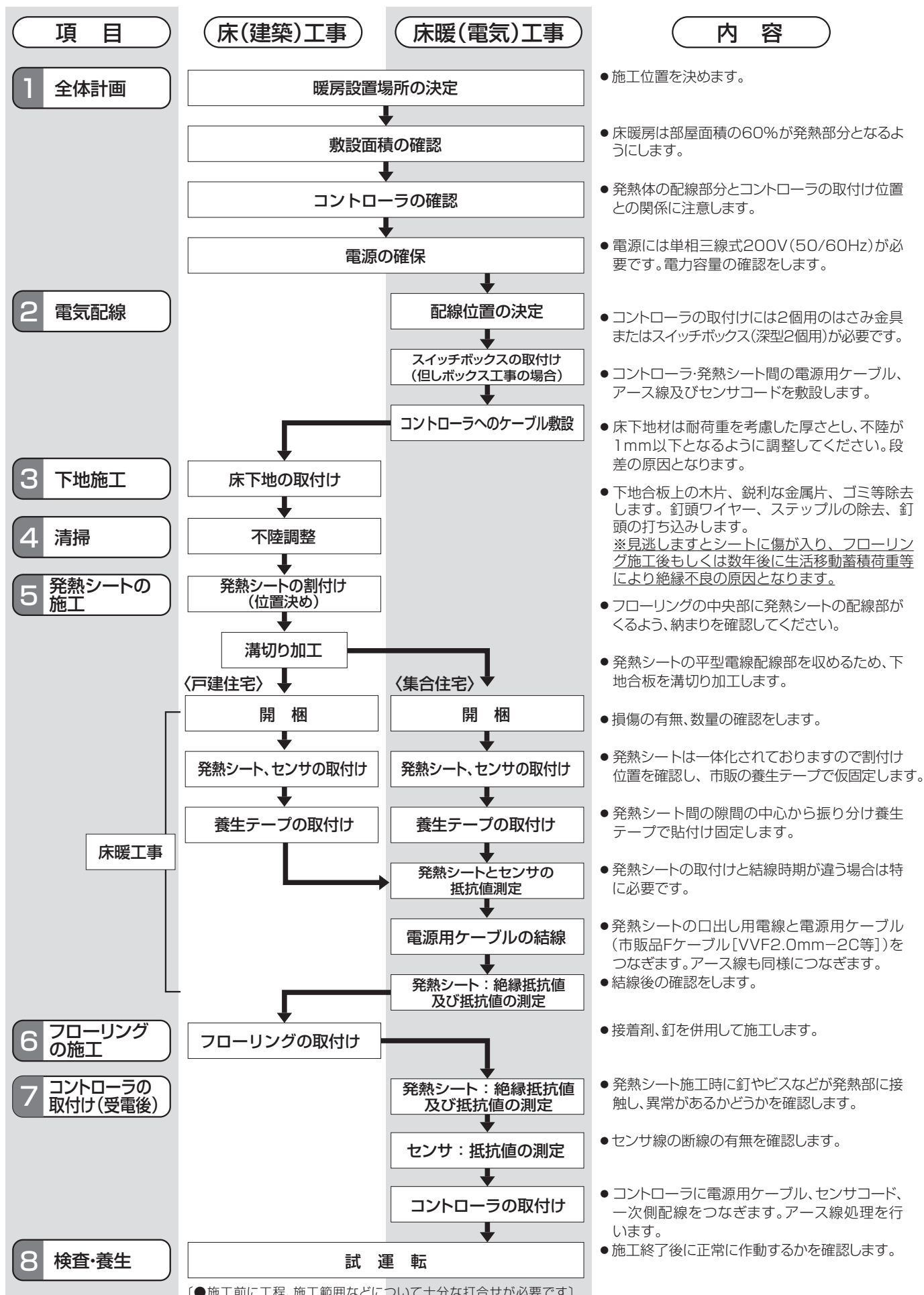
根太工法 (根太レス工法)



畳の場合



2. 施工手順



3.施工計画

(1) 発熱シートの配置

- ①発熱シートの敷設範囲^{敷設率}〔敷設率60%〕
床暖房の発熱シートを敷設する場合は、部屋面積のうち床暖房部分の占める割合（敷設率）が60%となるように発熱シートを配置してください。
- ②コントローラと発熱シートの位置
コントローラの取付け位置を考慮して、発熱シートの割付けを行ってください。
- ③発熱シートと床材の割付け
発熱シートの平型電線配線部がフローリングのサネ部分に位置しないように割付けてください。
- ④下地合板の平型電線配線部収納用の溝切り位置と寸法の確認。
- ⑤準耐火構造床の石膏ボード下地には合板12mmを捨て貼りし、平型電線配線部収納用の溝切り加工をしてください。

(2) 仕上げ材による床構造

■仕上げ材について（床暖房対応製品）

下記の仕上げ材を使用する際には、発熱シートと仕上げ材の間に捨て貼り合板(5.5mm以上～)を必ず敷設して下さい。

◎薄畳・クッションフロア・タイルカーペット・コルク・天然石

〈設置場所、用途、環境等により異なりますので、詳細は当社または、販売店にご相談下さい。〉

■ シートタイプ「床暖愛」

仕上げ材	床暖用フローリング 12mm 120mm巾以上	床暖用フローリング(無垢含む) 90mm巾以下	防音フロア	タイル・塩ビシート	タイルカーペット	床暖用量
捨て貼り 合板	不要 100・120mm巾は平型 電線配線部割付に十分 注意してください。	必要 捨て貼り合板 12mm以上 釘の長さに注意してください。	×	必要 捨て貼り合板(耐水) 12mm 以上	必要 捨て貼り合板 9mm 以上	必要 捨て貼り合板 9mm 以上
施工適合	◎	○	×	△	△	◎

■ パネルタイプ「だんだん愛」 ※ご用意しております。

仕上げ材	床暖用フローリング 12mm 120mm巾以上	床暖用フローリング(無垢含む) 90mm巾以下	防音フロア	タイル・塩ビシート	タイルカーペット	床暖用量
捨て貼り 合板	不要	必要 捨て貼り合板 9mm以上 釘の長さに注意してください。	不要	必要 捨て貼り合板(耐水) 12mm 以上	必要 捨て貼り合板 9mm 以上	不要
施工適合	◎	○	◎	◎	◎	◎

(3) 発熱シートの寸法と最大出力の計算



注意

コントローラA面及びB面の最大出力はそれぞれ15A(3000W)です。
最大出力を超えて使用されますとコントローラ内部の回路が損傷し、発火
や漏電の原因となり危険です。

コントローラA面及びB面の最大出力はそれぞれ15A(3000W)です。

使用する発熱シートの負荷電流合計がA面、B面それぞれ15Aを超えないようにご注意ください。

発熱シート接続枚数の負荷電流値は、突入電流値で算出してください。

■ 発熱シートの寸法と最大電流値

種 類	品 番	シート枚数	寸法 (mm)	突入電流	安定時消費電力
6畳用	SHFS-17510	10枚	2,987×1,790×0.8	8.24 A	764W
8畳用	SHFS-26510	10枚	2,987×2,690×0.8	12.50 A	1,157W
トイレ用	SHFS-06003	3枚	866×640×0.8	0.85 A	79W
キッチン用(幅広タイプ)	SHFS-06006	6枚	1,775×640×0.8	1.70 A	157W
キッチン用(縦長タイプ)	SHFS-17502	2枚	563×1,790×0.8	1.65 A	153W

4.床下地の施工

(1) 断熱材

床下地材の下部には必ず断熱材を隙間なく施工してください。断熱材の施工が十分でないと床下への放熱ロスが多く床暖房の性能が十分に発揮されないことがあります。断熱材の種類と厚さは住宅金融公庫の共通仕様書の断熱材基準値に準じて選定してください。

(2) 下地 根太工法(戸建住宅)※システム構成図参照下さい。



●二重床の支持脚の間隔が広すぎたり、家具、ピアノ、大型冷蔵庫などの重量物を置く場合には、床材が過大な重量に耐えられず破損する場合がありますので、必ず補強対策を講じてください。

二重床(集合住宅)

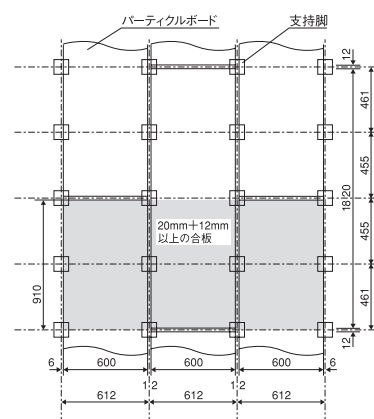
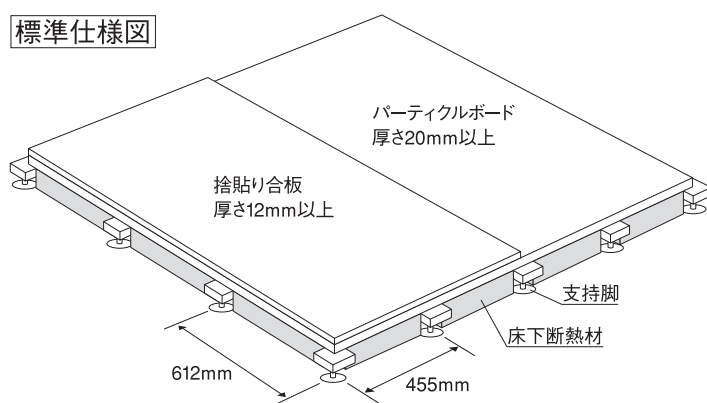
通常は支持脚ピッチを 612mm×455mm・床下地材には厚さ 20mm 以上のパーティクルボードの上に必ず 12mm 以上の合板を捨貼りした仕様にてお願いいたします。標準仕様図を参照ください。

●重量物を設置する場合の補強方法 (補強仕様図)

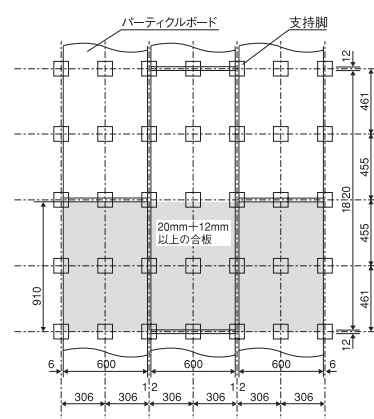
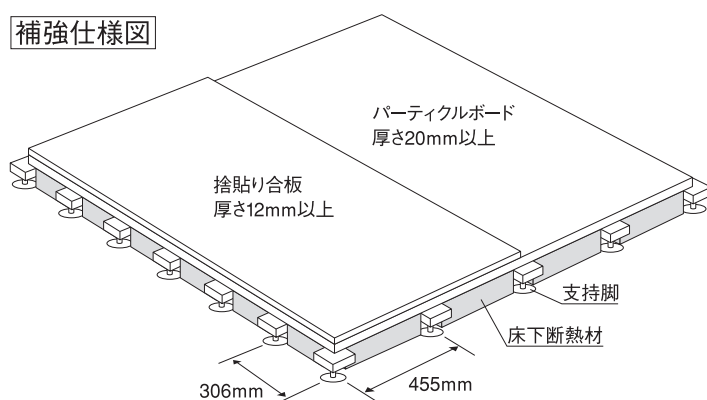
支持脚のピッチ 306mm×455mm はそのままパーティクルボード(厚さ 20mm 以上)の上に必ず 12mm 以上の合板を捨貼りする (補強仕様図参照)。尚、重量物の脚には、インシュレーターや合板などを敷いて、荷重が一点に集中しないようにしてください。

●床暖房部分にはピアノなどの重量物は置かないでください。

標準仕様図



補強仕様図



●床下地用パーティクルボードは釘・ビスで支持脚の受け台に強固に固定してください。釘・ビスは下地材に頭が隠れる程度まで打ち込んでください。不陸の段差は 1mm 以下となるようにアジャストボルトで調整し、専用の廻り止め用ボンドで固定してください。

※二重床の仕様および施工に関しては、二重床メーカー様の仕様および施工要領をご確認ください。

●床暖房本来の性能が十分に発揮できるよう、床下にはグラスウールなどの断熱材を充填してください。

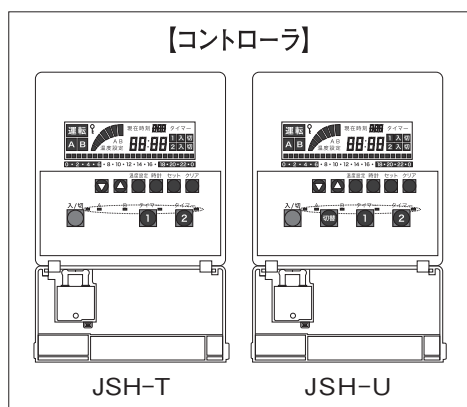
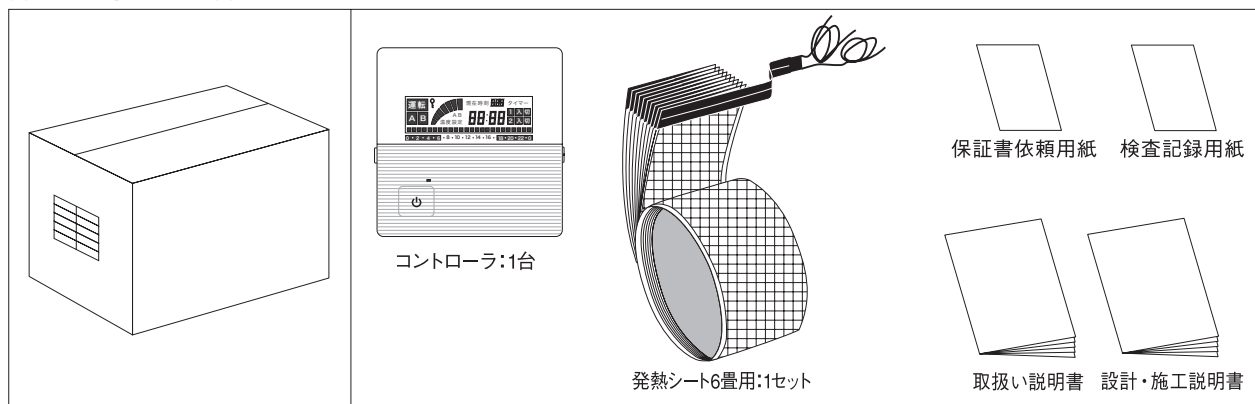
(3) 清掃

●床下地確認・施工後に必ず下地の清掃を行ない、捨貼り合板の表面に、ビスや釘頭、釘ワイヤーの飛び出し、あるいは木屑やゴミが落ちていないか確認し、ある場合は取り除いてください。見逃すと、数年後に生活移動の蓄積荷重等により絶縁不良の原因となります。

5.開梱

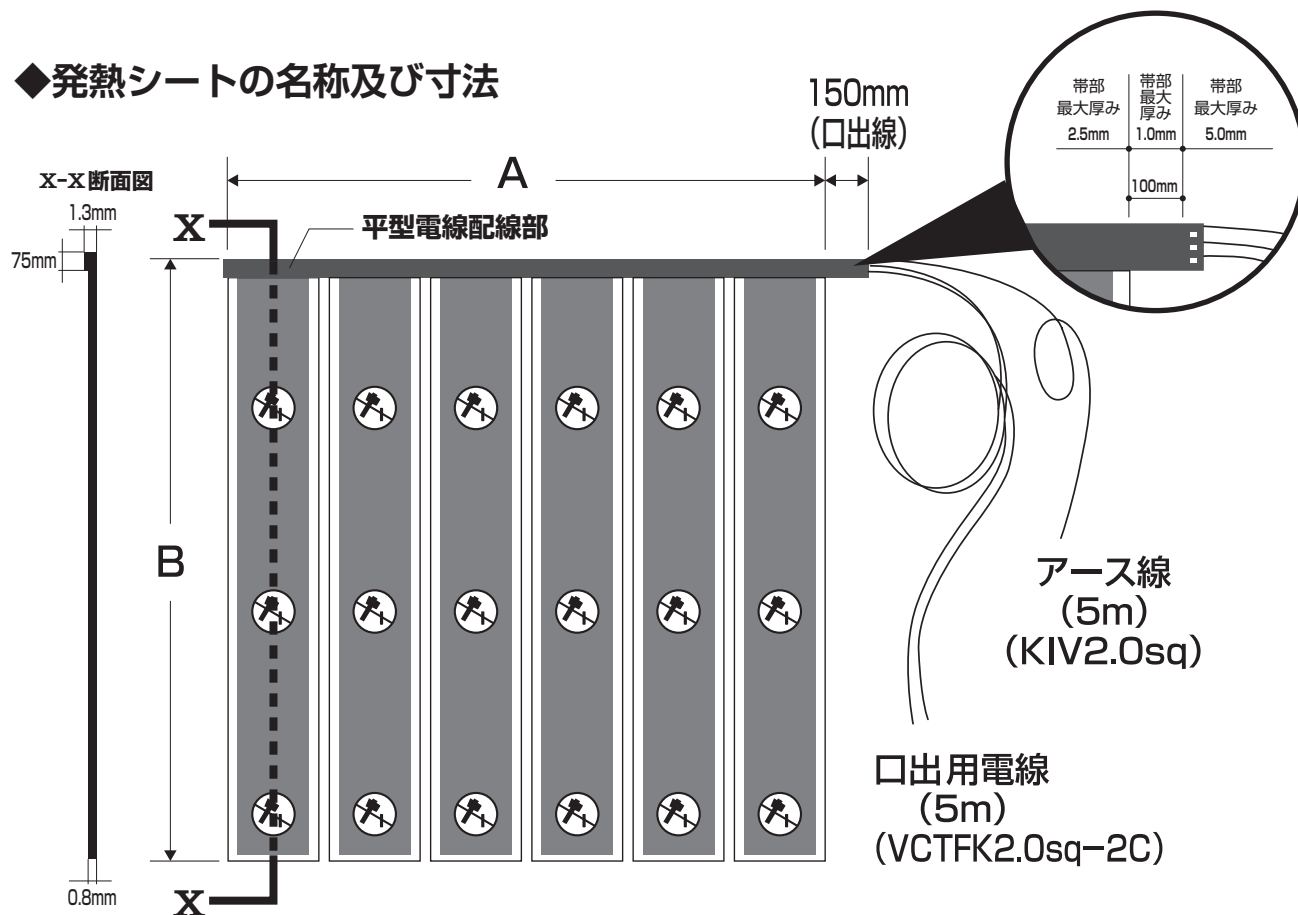
- 梱包を解いたら数量に不足および損傷などの問題がないかどうか確認してください。
水漏れなど不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

例：6畳用セット内容



	1 ch	2 ch
品 番	JSH-T	JSH-U
定格電圧	AC100V / 200V	
定格出力	AC200V 最大 15A×1回路	AC200V 最大 15A×2回路 (A・B)
寸法(mm)	116 (W) × 120 (H) × 42 (D)	
制御方式	温度制御(床温センサ)・通電率制御(床温センサなし)選択	
備 考	※通電率制御(床温センサなし) ※温度制御方式には床温センサを別途お求めください。 1回路(1ch)は1本、2回路(2ch)は2本お求めください。	

◆発熱シートの名称及び寸法



6.発熱シートの施工



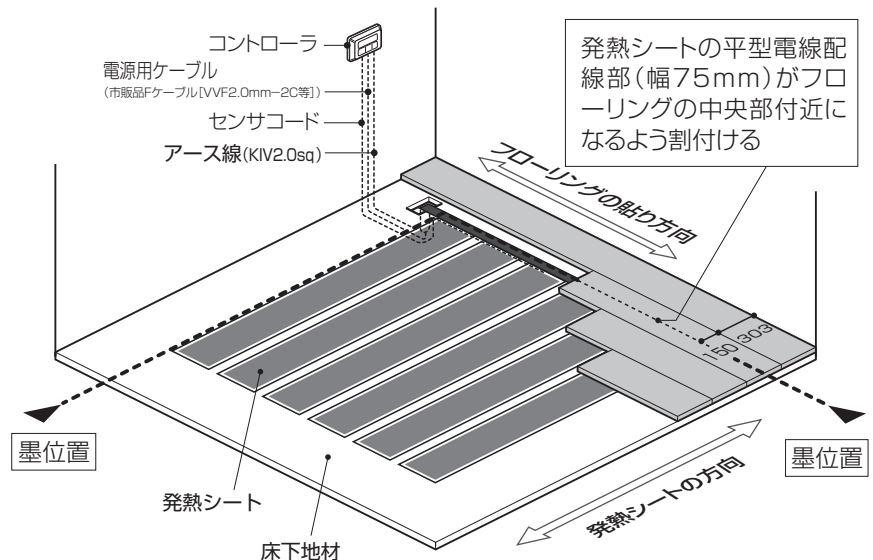
注意

発熱シートは電気製品です。折曲げないようにご注意ください。断線の恐れがあります。またシートを切断したり穴をあけたりしないでください。漏電により感電、火災の恐れがあります。施工の際は、配管または配線を損傷させないようにご注意ください。

(1) 発熱シート、床材の割付け、墨出し

発熱シートの設置位置は、フローリングの割付けによって決めてください。

発熱シートの平型電線配線部がフローリングの中央部付近になるよう位置を決めてください。コントローラ、電源用ケーブル（アース線含む）、センサコードの引出し位置と発熱シートの平型電線配線部分の取付け位置を考慮して墨出しをしてください。（右図参照）



(2) 発熱シート敷設時の不陸調整方法

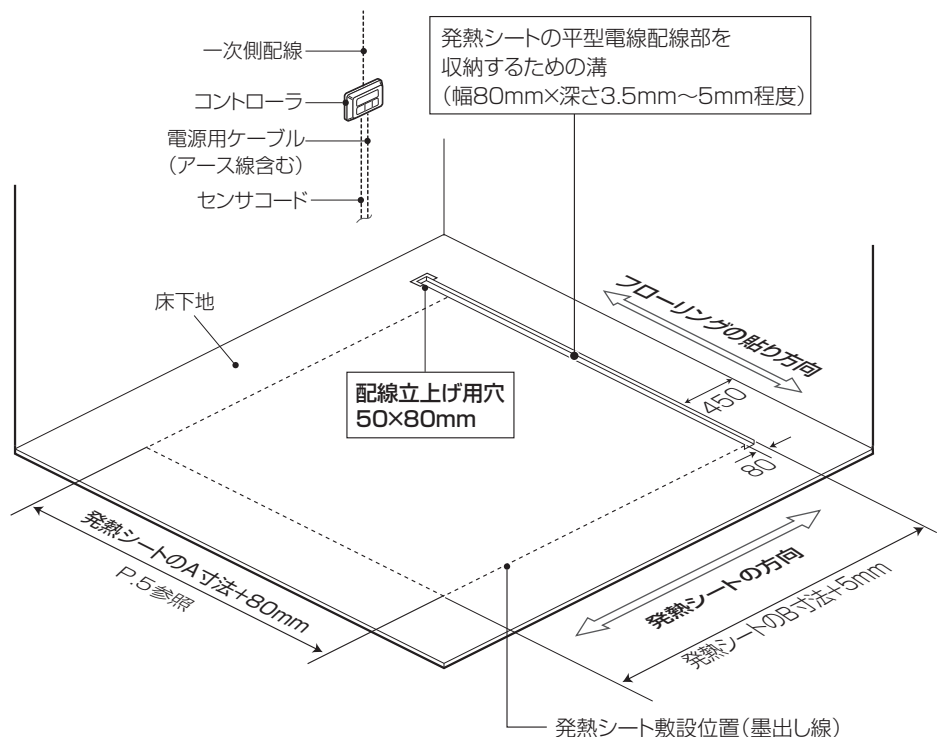
床下地材に溝を切る方法

●配線部の溝切り

発熱シートの平型電線配線部(幅75mm)は約3mm程度の厚さになっており、このままではフローリングの仕上げ面に凹凸が生じます。これを防ぐために床下地材に溝切りカッターで幅80mm、深さ3.5mm～5mm程度の溝切りが必要です。

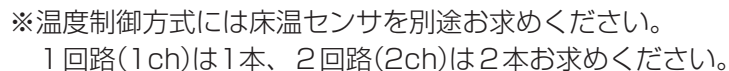
●配線立上げ用穴あけ

電源ケーブルとアース線及びセンサコードを床下地の下に引出す場合は、発熱シートの寸法(A)より、約100mm先の所に50×80mm程度の配線立上げ用穴あけが必要です。



**通電率制御(センサレス方式)の場合は
床温センサの取付けは不要です。**

(注)床温センサは発熱シート中央部の真下にくるよう配置してください。

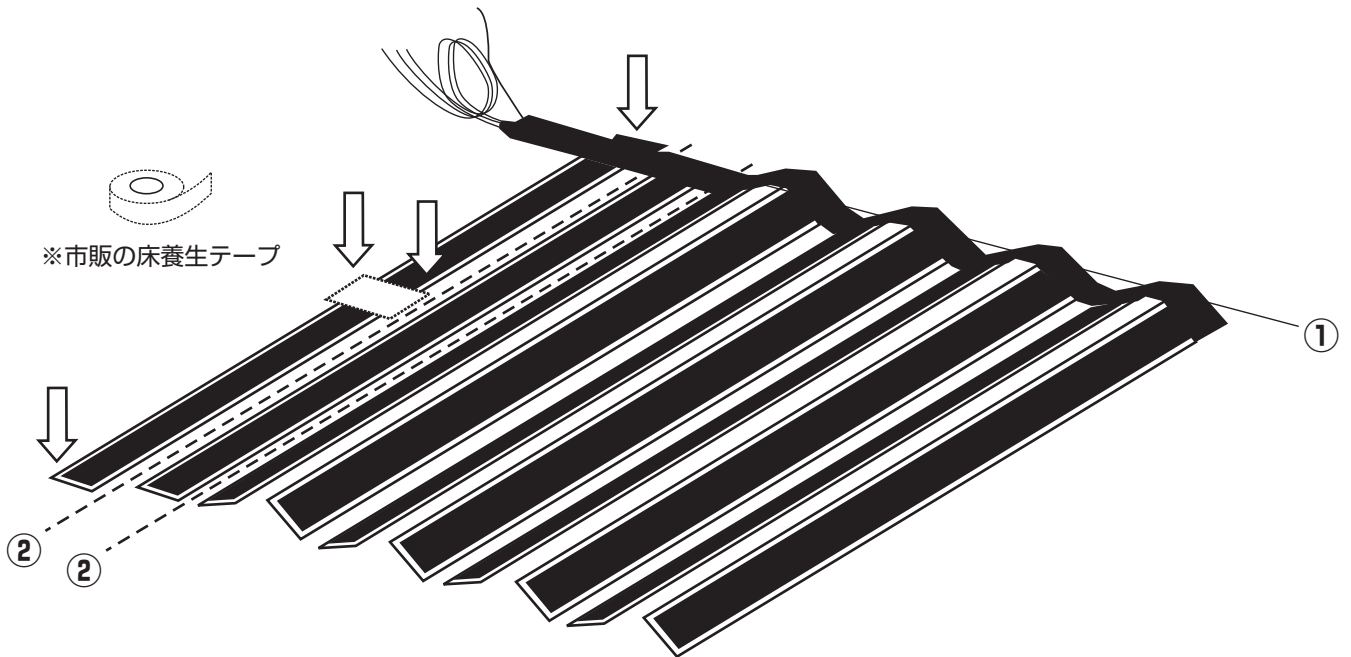


不陸調整テープを使う施工方法は、配線部の厚みを馴染ませる工法であり、フローリングに数ミリの不陸が出ます。
配線部を動線や建具から避けて敷設するようにしてください。

(5) 発熱シートの敷込み

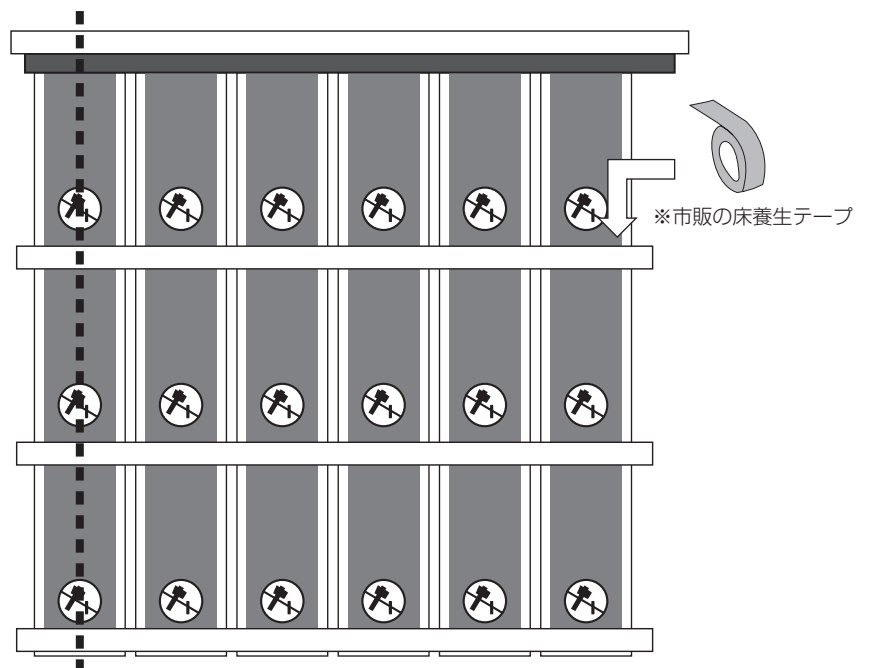
発熱シートは一体成形されていますので墨線に合わせてパタパタと広げ全体寸法を確認し、市販の養生テープなどで仮止めしてください。この時発熱部分を折曲げたり、切断したりしないように注意してください。敷き込み前に必ず下地の清掃を行い、下地合板の表面にビスや釘頭、釘ワイヤーの飛び出し、金属片や小石が落ちていないか確認し、ある場合は取り除いてください。見逃すと後の絶縁不良の原因となります。

- 図のように——①(シート間配線がある側)と-----②の墨出し線が、発熱シート同士の間に来るように、発熱シートを広げます。
- 発熱シートがずれないように、ユニット端部(墨出し線に合わせた側)のシートを市販の床養生テープ等を用いて仮留めます。



(6) 発熱シートの固定

発熱シートを市販の養生テープで発熱シートと直交方向に適度な間隔で固定します。



7. 発熱シートの抵抗値及び絶縁抵抗値確認



注意

抵抗値確認の結果、異常が認められた場合は、正しく施工されているかどうかを確認してください。

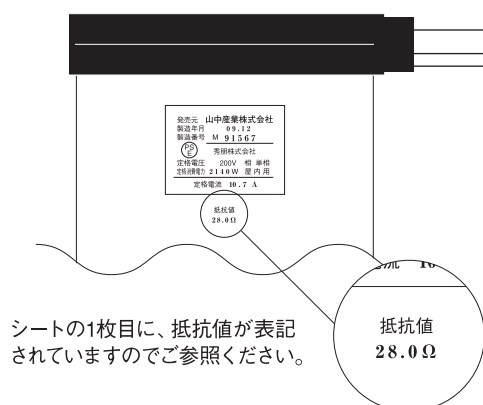
そのまま使用されますと漏電や短絡の恐れがあり大変危険です。

●抵抗値の確認

発熱シートの敷設終了後は、抵抗値を測定し異常がないことを確認してください。

抵抗値が表1とほぼ同じであることを確認してください。

※敷設の条件により±15%程前後します



シートの1枚目に、抵抗値が表記されていますので参照ください。

抵抗値の測定方法

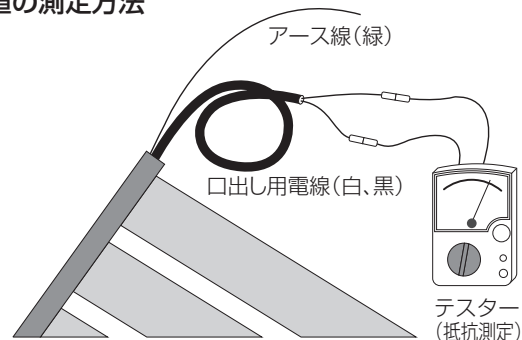


表1

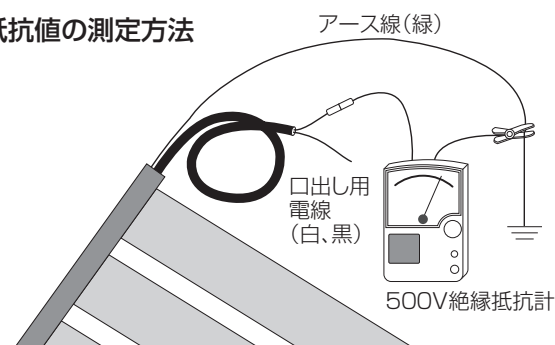
種 類	SHFS-17510 6畳用	SHFS-26510 8畳用	SHFS-06003 トイレ用
抵抗値のめやす	26～36Ω	17～28Ω	258～350Ω

SHFS-06006 キッチン用幅広タイプ	SHFS-17502 キッチン用縦長タイプ
129～175Ω	133～181Ω

●絶縁抵抗値の確認

発熱シートの電源リード線(口出し用電線)の配線各相と、アース間との絶縁抵抗を500V絶縁抵抗計(メガー)で測定します。絶縁抵抗値が50MΩ以上であることを確認してください。

絶縁抵抗値の測定方法



電源用ケーブルの芯線の片方ずつを交互に測定してください。

床温センサの抵抗値確認

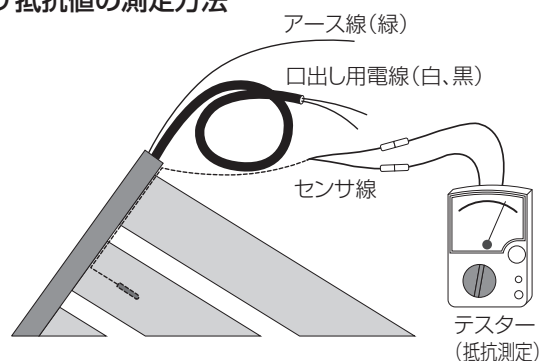
発熱シートの抵抗値測定と同様に、床温センサの抵抗値を測定します。抵抗値が表2とほぼ同じであることを確認してください。抵抗値が無限大であるときは断線の恐れがあるのでもう一度確認してください。

表2

周囲温度	0℃～40℃
抵抗値	3～13kΩ

床温センサには絶縁抵抗測定を行わないでください。
(センサが破損します)

センサ抵抗値の測定方法



8.フローリングの施工



注意

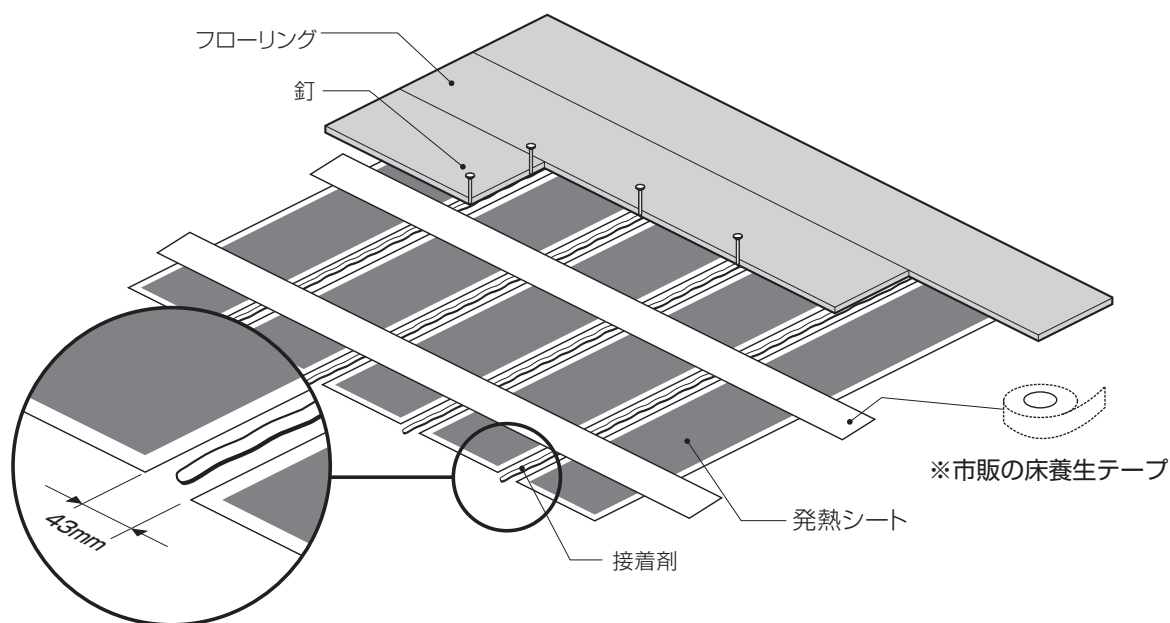
発熱シートの発熱部及び電極部を釘などで傷つけた場合は必ず、発熱シートを全交換してください。そのまま施工を進めると漏電による感電、火災などの事故につながる恐れがあります。

先に配置した発熱シートを傷つけないように注意しながらフローリングを釘、接着剤併用で施工します。床は3尺ずらして配置し、釘は必ず床下地材または根太まで打込んでください。

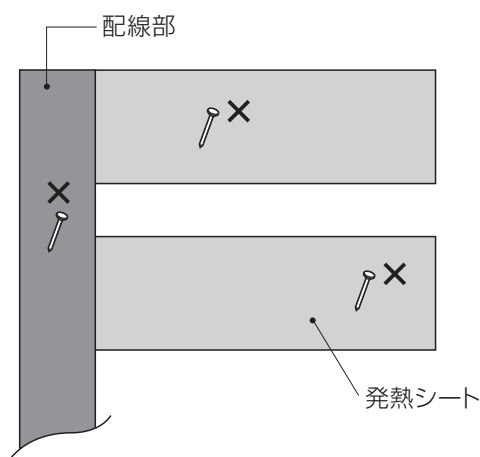
- フローリングは必ず日本農林規格品の複合フローリングを使用すると共に「床暖房用フローリング」を使用してください。(フローリング選定に際しては当社の床暖房システムを十分ご理解いただいた上でお選びください)
- 接着剤は床暖房用ウレタン1液接着剤をご使用ください。

重要

- 発熱シートとフロー材は直交に配置し、フロー材は捨て貼り合板の継ぎ目をまたぐように割付けします。
- 発熱シートの平型電線配線部を完全にまたぐようにフロー材を割付けてください。
- 発熱シートの床温センサ線を完全にまたぐようにフロー材を割付けてください。
- フロー材の継ぎ目が発熱シート(ラミネート部)の間となるよう割付けてください。



●釘打ち禁止部



- 発熱シート・平型電線配線部には接着剤をつけないよう注意し発熱シートと発熱シートの間に帯状に塗布してください。
- 発熱シート・平型電線配線部は全面釘打ち禁止です。
- 発熱シートは電気製品です。発熱シートの発熱部、電極部及び平型電線配線部には「釘打ち」「ビス止め」をしないでください。
- 誤って穴をあけてしまった場合は必ず発熱シートを全交換してください。

9.コントローラの取付け

(1) 接続

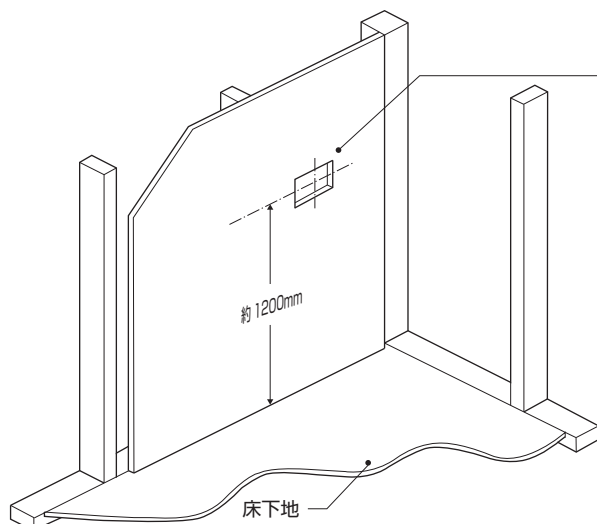


注意

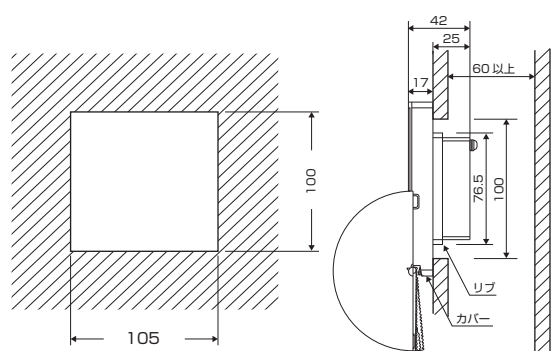
電気工事に際しては電気事業法、電気工事士法に基づいた有資格者が行う必要があります。また電気式床暖房システムは電気設備技術基準及び内線規定により、配線用遮断器、漏電遮断器の取付けが義務づけられております。

コントローラの取付け位置

- 取付け高さは床面から 1200mm 程度の位置に取付けるようにしてください(下図参照)。湿度の高いところや風呂場などの水廻りなどは避けてください。



壁の穴あけ寸法



- コントローラの定格電圧は単相三線式 200V または 100V (50/60Hz) です。また、コントローラへの一次電源はそれぞれ単独回路 (A 面・B 面) とし、必ず負荷容量に適した配線用遮断器、漏電遮断器を設置してください。

(2) コントローラの取付け

●ボックスレス工事の場合

(通常はこの方法を推奨します)

化粧パネルをはずし、はさみ金具(石膏ボード用取付押え金具2連用 [9~30mm 壁用]、パナソニック型番:WN3997)で壁をはさみ4本のネジで固定します。固定後、化粧パネルを取付けます。

(注)化粧パネルをはずす時は、下辺をはずし溝に爪を入れて引くと簡単にはずれます。ドライバなどを差し込むと周辺の樹脂が割れる場合があります。

●ボックス工事の場合

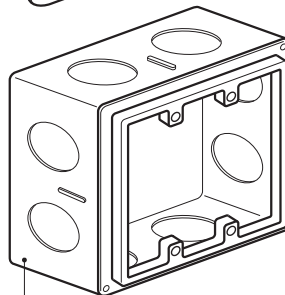
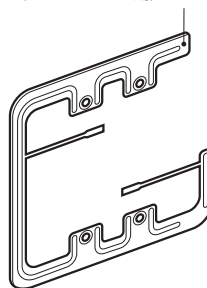
A面、B面2回路で使用する場合はボックス内電線納まりが困難です。

スイッチボックス(深型2個用)を使用して配線スペースを確保してください。

奥行寸法は60mm以上が必要です。

※露出ボックスに直取付はコントローラ裏ユニットのリップ94.6(W)×76.5(H)×6.5(D)mmにより困難です。

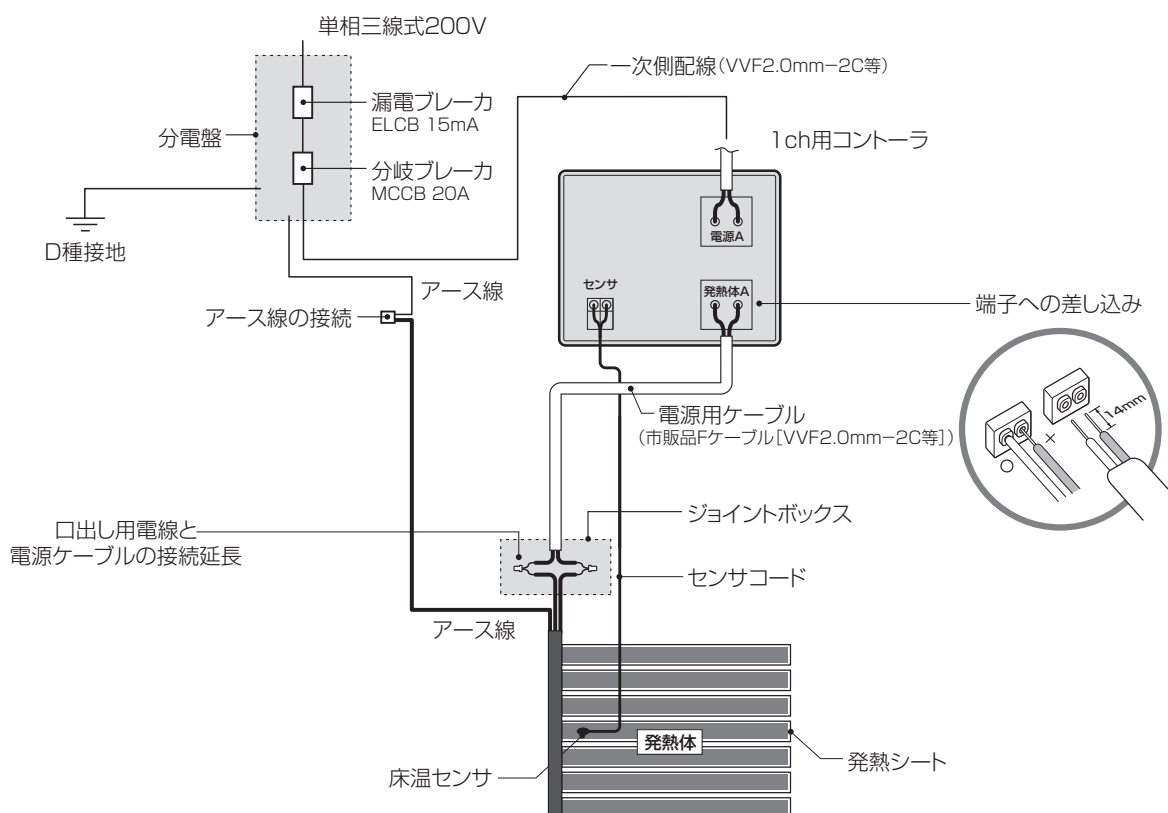
はさみ金具
石膏ボード用取付押え金具2連用
[9~30mm 壁用] パナソニック型番:WN3997



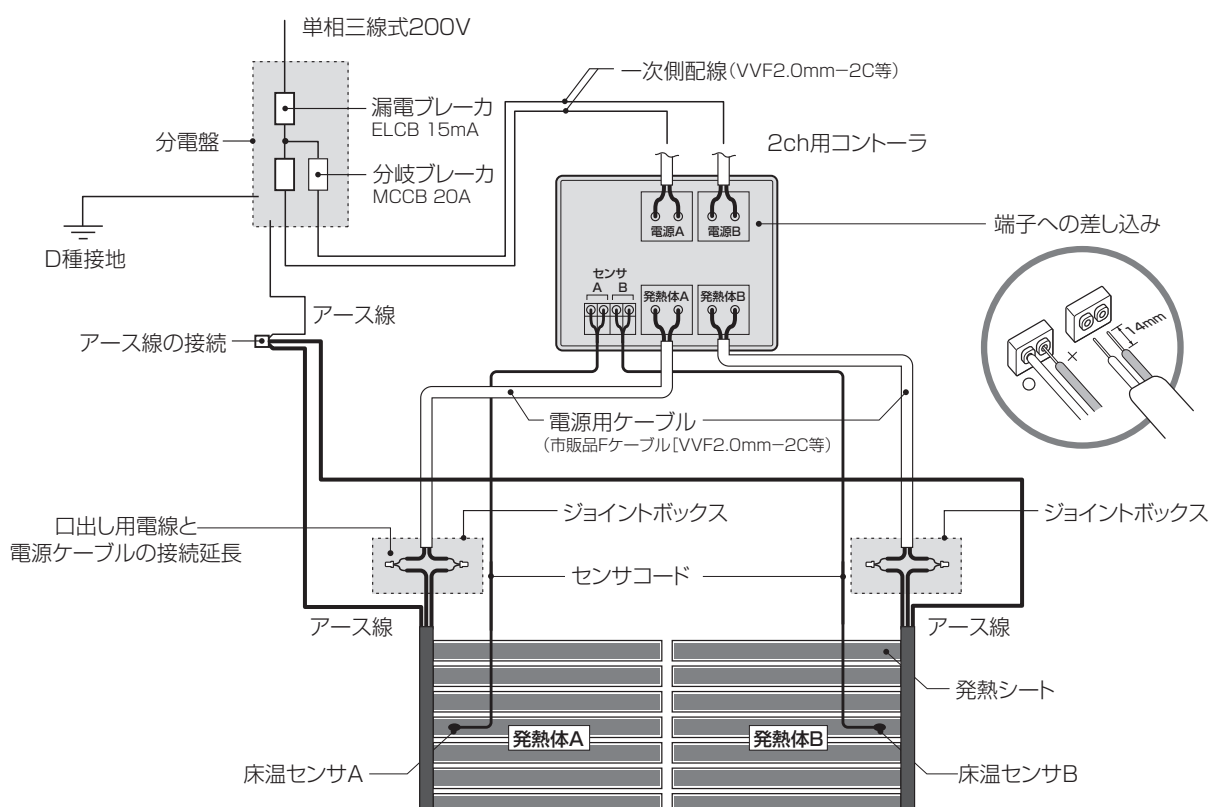
スイッチボックス
(深型2個用)

**通電率制御(センサレス方式)の場合は
センサ線の項目(工事)は不要です。**

■電気回路図(1ch用)

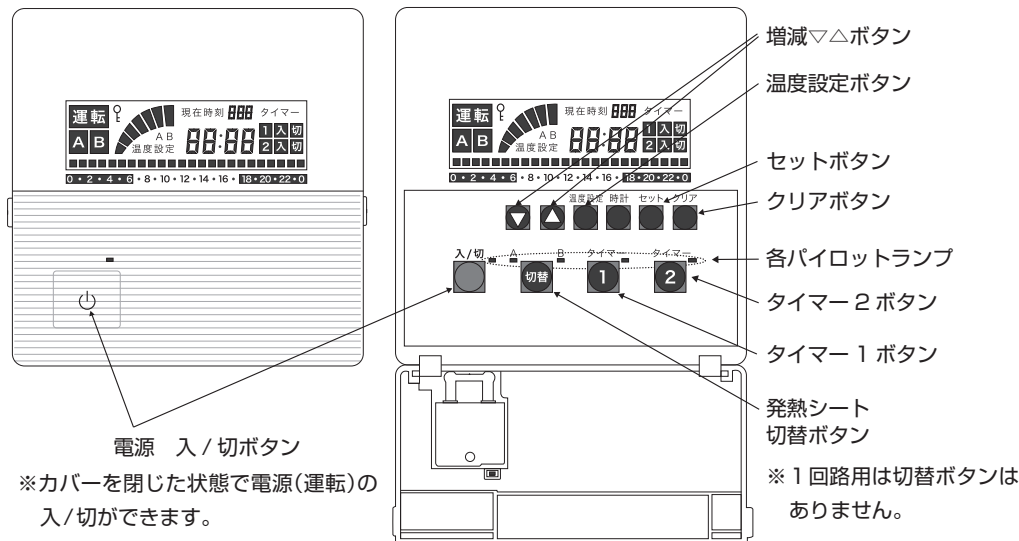


■電気回路図(2chA面・B面使用)



10. 試運転

(1) 2ch用コントローラ



1

全ての施工終了後、問題がないことを確認した後に分電盤のブレーカをONにしてコントローラに通電します。表示部に「現在時刻」が表示されていることを確認してください。

2

現在時刻を設定します。①時計ボタンを3秒以上押します。②「現在時刻」液晶が点滅します。③点滅中に増減「▲▼」ボタンを使用し、現在の時刻に設定してください。④セットボタンを押して時刻を確定させます。
※セットボタンを押し忘れても1分後に自動的に確定します。

3

温度設定を行います。
①切替ボタンを押し温度設定を行う面(A面orB面or両面※)を選択します。切替ボタンを繰り返し押すことで、選択したい面の上部のパイロットランプが点灯しますので選択してください。
※両面を選択した場合は、A面→B面の順で設定します。
②温度設定ボタンを押します。
③液晶画面に7段階のレベルメータと①で設定した温度設定を行う面(AorB)の表示がされます。
※初期出荷設定は温度設定4となっています。
④増減「▲▼」ボタンを押し、温度を設定してください。
※メータは右上に向かって増えていくほど、温度が高い設定です。
⑤温度設定決定後、再度温度設定ボタンを押してください。液晶画面のレベルメータが消え設定が完了します。

4

①電源「入/切」ボタンを押します。入り状態になると右上のパイロットランプが点灯し、運転を開始します。また、液晶表示の「運転」が表示されます。
②運転する発熱面を切替ボタンを押し選択します。選択された面のパイロットランプが点灯し、運転を開始します。点灯している表示面が暖まります。通電開始後20～30分で床表面が暖かくなることを確認してください。
※切替スイッチはA面→B面→B面→AB面の順で繰り返し表示されます。

5

正常に運転されることを確認したら再び電源「入/切」ボタンを押します。切状態になるとボタン右上のパイロットランプが消灯し、床暖房が停止します。
※電源「入/切」スイッチのパイロットランプが消灯すると切替ボタンのパイロットランプも消灯します。
以上で試運転は終了です。

故障と思われるときは(取扱説明書より)

- 機器の不具合をよくお確かめになり、下表に従って対策を施してください。
- コントローラはリレー(継電器)を使用して通電を制御しているため、若干の作動音がしますが異常ではありません。
- 通電率制御方式(センサレス方式)には床温センサを使用していません。

現 象	原 因	対 策
電源が入らない。 何も表示されない。	ブレーカが切っている。	ブレーカを ON にしてください。
	停電している。	停電の回復後にもう一度確認してください。
	コントローラが壊れている。	工事店または販売店にご連絡ください。
運転しても床が暖まらない。	運転直後である。	運転後 20 ～ 30 分後に確認してください。
	設定温度が低い。	温度設定を確認後、再設定をしてください。
	部屋の温度が高い。	部屋の温度が下がっているときに確認してください。
	発熱シートの不良。	工事店または販売店にご連絡ください。
	電源に 100V が接続されている。	工事店に電源電圧の確認をしてください。
タイマー運転が異常である。	タイマー設定が間違えている。	タイマー設定の方法に従い再度設定を行ってください。
	時刻の設定が間違えている。	時計時刻を再度設定ください。
タイマー運転ができない。	タイマー時刻が設定されていない。	タイマー設定の方法に従い再度設定を行ってください。
ブレーカが落ちる。	発熱シートの不良。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に $AL:A1$ ^{Err} もしくは $AL:b1$ ^{Err} が表示。	放熱部の上に断熱性のものを置いている。	運転を停止し、放熱部上の断熱性のものを除けてください。
液晶表示部に $AL:A2$ ^{Err} もしくは $AL:b2$ ^{Err} が表示。	床温センサが断線している。または床温センサの接続が脱落している。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に $AL:A3$ ^{Err} もしくは $AL:b3$ ^{Err} が表示。	床温センサが短絡している。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に 現在時刻 $12:34$ ^{Err} が表示。	通電時間が、通電アラーム時間(設定 24 時間)をオーバーしている。	運転再開の場合は、  ボタンを押してください。
液晶表示部に $AL:A4$ ^{Err} もしくは $AL:b4$ ^{Err} が表示。	床温センサが誤配線になっている。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に $AL:A5$ ^{Err} もしくは $AL:b5$ ^{Err} が表示。	ヒータリレー系故障の恐れあり。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に $AL:A6$ ^{Err} もしくは $AL:b6$ ^{Err} が表示。	発熱シート系故障の恐れあり。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に $AL:A7$ ^{Err} もしくは $AL:b7$ ^{Err} が表示。	発熱シート絶縁抵抗低下の恐れあり。	工事店または販売店にご連絡ください。
液晶表示部に $AL:13$ ^{Err} が表示。	データ系故障の恐れがあります。	工事店または販売店にご相談ください。
液晶表示部に $AL:AA$ ^{Err} もしくは $AL:bA$ ^{Err} が表示。	電源系故障の恐れあり。	工事店または販売店にご相談ください。
液晶表示部に $AL:Ab$ ^{Err} もしくは $AL:bb$ ^{Err} が表示。	絶縁抵抗検出センサ異常恐れあり。	工事店または販売店にご相談ください。
液晶表示部に $AL:AC$ ^{Err} もしくは $AL:bC$ ^{Err} が表示。	電源配線誤配線の恐れあり。	工事店または販売店にご相談ください。
運転中に液晶時計表示上部に 「03」と小さく表示。	コントローラ内の温度が一時的上昇しています。	コントローラの一時的な温度上昇です。連続して続くようでしたら、工事店または販売店に相談ください。

警告表示について

コントローラは、有寿命部品を使用していますので、商品の寿命は使用頻度や設置条件・使用環境により異なりますが、下記表示されましたら、設計上の動作回数に到達したことになります。

誤動作などにより漏洩電流が発生して、ブレーカーが動作する場合がありますのでコントローラの交換をお勧め致します。表示をご確認の上、対応をお願いします。

お知らせ表示	状況について	ご対応について
運転中に液晶時計表示上部に「01」と小さく表示	コントローラの交換時期です。	工事店または販売店にご連絡して、お早めにコントローラの交換をお願い致します。

11. 施工終了後

(1)養生、ワックス塗布などについて

- 施工後、フロー材表面の木屑やゴミをきれいに清掃し、ビニールシートや養生シートなどを壁際まで隙間なく敷き込み、市販の床材専用の養生テープで四周留付け、その上に、合板や段ボールを敷いて、十分に養生してください。

汚れ、ワックス塗布については各メーカーの方法及び注意事項に従って行ってください。特にワックスの塗布については必ず電源を切り、温度が下がってから塗布してください。また、塗布後は十分に乾燥してから電源を入れてください。

(2)取扱説明書・検査記録用紙と保証書発行依頼用紙の手渡し

施工終了後に「検査記録用紙と保証書発行依頼用紙」に必要事項を記入してください。同梱の「取扱説明書」「検査記録用紙と保証書発行依頼用紙」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の際は、お施主様に依頼するか製品に張り付けるなどにより必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。コントローラ（取付後2年保証）は寿命がありますが、交換可能です。交換可能なパーツは、生産中止後も10年間は保有しております。

本製品は、BL(ベターリビング)認定商品です。



- ・部品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。
- ・施工説明書で示された施工方法を逸脱しない方法で施工を行ったものは、被保険者として、施工に関する瑕疵担保責任及び施工の瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際には保険金の請求を出来ます（保険の対象となる期間：5年）。